

相談室から 「いい先生方に出会えて孫は幸せです。」

相談室を訪れた70代の女性は、心配していた孫が元気に登校できるようになったことを1時間半近く、我が子のことのように嬉しそうに語っていきました。母親も何回か来室しておりましたので、状況はそれなりに把握していましたが、祖母の立場から見た孫や娘（母親）の難儀した様子を知ることができました。毎日のように級友とのトラブル、先生には反抗的な態度をとり、学校には随分迷惑をかけたことそのため、娘（母親）は何度も学校に足を運んだことを語るのです。今年度になって担任が変わり、クラスメイトも新しくなり、夏休みを過ぎた頃になると以前「学校に行きたくない」と渋っていた孫が、ごく自然に登校し始めました。それまでは、これから先どうなるのだろうと心配で心穏やかでなかったといいます。



娘（母親）は職場では責任ある立場にあります。子育ても懸命に頑張っていましたが、ストレスが原因で突発性の症状が出て入退院を繰り返す状態でした。ですから、孫の今の様子から先生方にはとても感謝しています、と。

「子どもは先生で変わるんですね。」「担任の先生の鷹揚さが孫の性格には合っているようです。」「いくら小さな子どもでも認めてもらえない辛さが、あの時あったのだと思います。」……

年を重ねた方は知恵や経験が豊富です。ゆったりとした物腰、決して否定することなく、お孫さんの全てを受け入れる姿勢、やんわりと見守る様子など、私たち相談員も多くを学ばせてもらいました。物理的にも精神的にもゆとりのない子育て世代には、こうした年配の方の存在や力添えは有り難いものです。

「いい先生方に出会えて孫は幸せです。」…… 印象に残った言葉です。

元気な歓声多目的ホールに (適応指導教室)

改修工事のため使えなかった多目的ホールがやっと使えるようになりました。早速、体育ができることを伝えると、「やった！」の聲が上がりました。寒い多目的ホールでの活動であっても、通級生にとってはきっと日ごろため込んでいるエネルギーを発散することができる大切な時間なのだと改めて感じさせられました。



数学の授業（2年生）

改修明け最初の選択種目はバドミントン、その一週間後はソフトバレーボール、元気な聲が飛び交っています。1月末新たに男子生徒1人が仲間として加わり、新しいいい風を吹かせているように感じます。

3年生は私立の入学試験が終わり、公立高校進学を目指している通級生は少しずつ緊張している様子を見せることもあります。先週は入学試験のための願書を書いたそうです。追い込みの今、インフルエンザ等に罹ることなく過ごしてくれることを願っています。

通級生は、定期テストを受けるかどうかで悩み、受けられず落ち込んだり、受けましたとにこやかに元気に応えてくれたりさまざまです。週1教科60分の当クラスの授業では、なかなか学校の学習進度に追いつかないのは当然です。でも歩み始めたこの一歩はきつととても貴重な一歩であると信じています。相談員数や施設の広さなどもあり、なかなか希望に沿えないこともあると思いますが、入級を考え中の皆さんには是非一歩踏み出して欲しいと思います。歓声をあげながら元気にボールを追いかける当クラスの生徒と一緒に過ごしてみませんか。

「体験活動も大詰め！ がんばった学習」

1月大寒、寒中見舞い作成にはもってこいの時期です。絵手紙体験は今年度2回目ながら、冬場の絵柄は初の試み、この日は4名の通級生が参加しました。さて、取り組み具合は？とか、絵柄は？興味深く生徒の手先を観察していました。作業が始まるや否や生徒たちは真剣に下絵を描いているのです。なんともその集中力のすばらしさにびっくりでした。できあがったハガキは、春を待つ色鮮やかな寒椿、優しい色合いで花いっぱいシクラメン、湯気が出そうなきりたんぼ鍋など、手にした方はほっこりするに違いない作品でした。そこに一言を添えて、全員寒中見舞いを完成させました。生徒たちはもちろん、指導した私たちも大満足で、早く受け取ってもらいたくなりました。真心を伝えたいという生徒たちの一途な思いを垣間見ることができました。

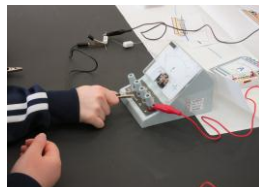


絵手紙「寒中見舞い」づくり(1/21)

2月の1回目の体験活動は6名で、昨年オープンした教育研究センターでの授業でした。普段の理科の授業ではできない実験・観察を、集中して学習しました。ガスバーナーの使い方、指示薬による水溶液の性質調べ、電流回路、最後は炭酸水素ナトリウムの分解など盛りだくさんです。現代っ子のせいカマッチのすり方に手こずったり、バーナーの炎の大きさに恐れたりしながらもマスターしました。指示薬の学習でも、ピペットの微妙な使い方に苦戦。それでも色の変化に歓声を上げる生徒の様子に、このような学習の重要性を認識させられました。電流回路もしかり、初めて手にする器具だけに、頭では理解していても実際繋いで計測するとなると容易ではなかったようですが、ペアで協力して進めることができました。最後はお楽しみのカルメ焼きです。門外不出と言われるセンターの先生のレシピで取りかかりました。指導が良かったので、全員しっかり成功させたカルメ焼きをお土産に、充実した理科実験講座は終了しました。

さて、一連の体験活動も残すは修了の会のみとなりました。生徒たちのクラス(?)討議を経て手作りで執り行われる会で、最終回になります。大いに楽しみではありますが、別れの会であるだけに寂しさが増します。元気な羽ばたきを期待して見守っていきます。

電流回路の学習(電流計・電圧計の理解)
教育研究センターにて(2/4)



2~3月の活動 シャイニングクラス在籍 8名

< シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 理科、国語 ○ 水曜日 社会、英語
- 金曜日 数学、体育 ○ 木曜日 体験活動(月2回)

- ◆ 体験活動(20) 2月4日(木)
「理科実験講座」
- ◆ 体験活動(21) 2月18日(木)
「修了の会に向けて」
- ◆ 体験活動(22) 3月3日(木)
「修了の会の準備」
- ◆ 体験活動(23) 3月7日(月)
「修了の会」



指示薬で水溶液の性質を調べる学習(2/4)

あ と が き

親というのは“自分の子どもが心豊かに育って欲しい”という理想を持っていると同時に“いい学校に進学してもらいたい”という現実的な願いも持っています。この二つの願いは対立しています。そういう矛盾したものを両方持っているのが親だということです。

親と同じように子どもたちも矛盾した感情を持っています。だから悩むし、先が見えない不安になります。公立高校の願書記入も終え、中3生徒はいよいよ受験に向けて追い込みです。受験生、ガンバレ！

教育相談連絡先

- ダイヤルなんでも相談
TEL 23-7266
- 適応指導教室(シャイニング)
TEL 22-2111
(内線 445、448)
林、小野、鈴木が担当です。